

○ 上 蒜 山

2014年2月24(月)～25日(火)

鳴原、岡本(記録)

<行程・時間>

2月24日 午後3時、鳴原宅集合→蒜山高原→道の駅(泊)

2月25日 7:55 駐車場発→8:23 登山口 →9:40 八合目 →10:10 尾根分岐(最高峰) →10:20 上蒜山山頂(10:40発) →11:10 八合目→11:55 登山口→12:10 駐車場着

ネットで調べたが、積雪期に上蒜山山頂まで無事到着した山行記録を見つけることが出来ず、少し不安な気分が出発。蒜山高原到着時はまだ明るかったので、まず上蒜山の登山口のチェックに行く。標識は見つけたものの、トレースがはっきりしない。中蒜山ルート(塩釜冷泉)へ向かう。案内板があり、中蒜山の登山口は見つけることが出来たが、そこにあるキャンプ場は雪が深く、近づけない。やむなく道の駅で一夜を過ごすことにした。

翌日、6時頃に起き、簡単な朝食を済ませ、どちらのルートを取るか迷う。霞んでいるが、稜線ははっきり見え、やはり最高峰の上蒜山を目指すことにする。車を置き、昨日見つけておいたすぐ近くの標識まで行き、



(登山口)

そこでスノーシューを付ける。入り口は除雪車の雪で少し壁になっていたが、それを乗り越えるとトレースが付いている。少しラッキーな気分になり、持ってきたGPSと地図をチェックをし、登山口を目指す。登山口はスキー場のはずれの樹林地帯の入り口にある。



(登山口まで 0.9 km)



(尾根から中蒜山方面)

登山口を入ると、すぐにトレースを見失う。方向だけを頼りに、真っ直ぐ200m余りを一気に登り尾根にでる。少し行くとトレースと合流する。ここから殆ど樹木もなく、大山は霞んで見えないものの、蒜山高原や、中蒜山、皆ヶ山がよく見え、素晴らしい眺望だ。標高は1000m余りであるが、流石に日本海に近いただけあり、積雪は十分だ。所々スノーシューでは歩き辛いような急斜面もあるが、風も少なく、まずまずの天気で、気分の良いルートだ。

最後の急な登りを登り切ると、そこが上蒜山の最高峰だ。1200m程の山だが、モンスターもあり、それなりの雪山気分が味わえる。三角点はそこより少し低い、少し先にある。標識を期待し、三角点まで行くが、雪が深く何も目印になるものはない。仕方なくGPSで三角点であることを確認する。



(最高点から中蒜山)



(最高点のモンスター)



(最高点から見る三角点)

山頂で行動食を取り、後は気分の良い尾根を下るだけだ。所々にある急斜面は、スノーシューで下りるには少し厳しいが、危ないところは登り姿勢で下り、後は滑るようにして下りる。思ったより早く下山してしまい、少し惜しい気もしたが、中々楽しいスノーシューツアーだった。来年、また行くことにしよう。